

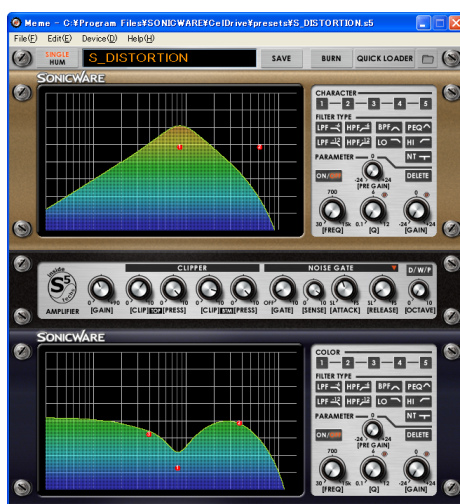
CELDRIVE

音色作成ツール

MEME

ミー ム

取扱説明書



■ 著作権、登録商標について

- 本ソフトウェア及び取扱説明書の著作権は、有限会社ソニックウェアが所有します。
- 本ソフトウェア及び取扱説明書の一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。
- Windows 及び Windows XP は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- Adobe Acrobat は、Adobe Systems Incorporated の商標です。
- その他、この取扱説明書に掲載されている製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。
- 本文に記載されている全ての商標および登録商標は、識別用途のために用いており、各著作権を侵害する意図はありません。

■ ソフトウェアの使用条件について

有限会社ソニックウェアは、以下の使用条件とともにご提供するソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」）を使用する権利を、下記条件に基づいた上でお客様に許諾致します。また、お客様におかれましても下記条件にご同意頂いた上で本ソフトウェアをご使用頂くものとします。

- 本ソフトウェアの著作権及び付属の取扱説明書やコンテンツの著作権、その他一切の権利はすべて有限会社ソニックウェアに帰属します。
- 本ソフトウェア及び付属の取扱説明書やコンテンツの無断での配布／販売／リース／レンタル／改変／リバースエンジニアリングを禁止します。
- 他者の著作権を侵害する恐れのある用途及び損害を与える可能性がある用途に、本ソフトウェアを使用することを禁止します。
- 本ソフトウェアを用いて他者へ損害を与える行為や、他者の著作権を侵害する行為が行われた場合でも、有限会社ソニックウェアはその一切の責任を負いません。
- 直接／間接を問わず、本ソフトウェアを使用したことによる損害や、第三者からのいかなる請求につきましても、有限会社ソニックウェアはその一切の責任を負いません。
- 万一、本ソフトウェアを使用したことにより、ハードディスク上のデータが損失した場合であっても、修復や保障には一切応じかねます。
- ソフトウェアの仕様および付属の取扱説明書やコンテンツの内容は将来予告なしに変更する場合があります。

■ 音作りにおけるご注意

本製品は従来のコンパクトエフェクターでは操作できないような様々なパラメータをユーザーが設定できるように公開しております。

そうすることで、どのようなドライブサウンドでもつくりことができるようになっておりますが、設定によっては発振して音が鳴り続けたり、音が出ないといった設定にすることも出てまいります。

また、機材との組み合わせによっては耳や機材に障害を与えてしまうほどの音量になる場合もございますので、音作りの最中は CELDRIVE のレベルノブを小さめに設定してください。

以上をご了承いただいた上、本製品をご使用ください。

取扱説明書に掲載されている画面は、実際の画面と異なる場合があります。

■ はじめに

この度はソニックウェア CELDRIVE をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品でドライブサウンドを効率よく作成し、また末永くご愛用いただくため、最初にこの取扱説明書をよくお読みください。また、いつでもご参照いただけるよう保証書とともに大切に保管してください。

CELDRIVE は世界にひとつだけの、あなただけのコンパクトエフェクターです。

CELDRIVE は従来のコンパクトエフェクターでは成しえなかった、どんな音でもつくれる環境を提供します。

あなたの使っているギターとアンプにぴったりとフィットした音。それを現実のものにします。

さあ、CELDRIVE と一緒に、あなただけの自由な音を、新しいステージを見つける旅に出かけましょう！

■ 目次

■ はじめに	3
■ 主な特長	5
■ meme の起動方法	6
■ meme の終了方法	6
■ meme ウィンドウの紹介	7
■ クイックツアー	9
プリセットデータを聴く	9
プリセットデータを CELDRIVE に書き込む	11
プリセットデータを調節する	12
■ 信号の流れ	16
■ 各部の機能	17
メニューバー	17
トップパネルセクション	18
CHARACTER セクション	20
AMPLIFIER セクション	24
COLOR セクション	28
■ サウンドメイキングの一例	29
■ そして、それから	32
■ 困ったときは (Q&A)	33
■ エラーメッセージ/確認メッセージ一覧	34

■ 主な特長

世界にひとつ、あなただけのエフェクター

音作りに必要な準備は、コンピューターと CELDRIVE を接続するだけ。音色作成ツール「meme」で様々な音色をすぐに試すことができます。

出来上がった音色は CELDRIVE に書き込み、あとは普通のコンパクトエフェクターのようにコンピューターから切り離して使えます。

直感操作で全パラメータをエディット OK

CELDRIVE では、楽器メーカーのエフェクター設計者たちが調整してきたようなパラメータも直感的に操作できます。

充実のコンテンツ

meme にはあらかじめ様々なドライブサウンドデータが入っています。サウンド一覧（クイックローダー）機能を使えば、一覧の中からコメントを見ながら好みの音色を簡単に探すことができます。ワンクリックで CELDRIVE がスタンダードなエフェクターや伝説的なストンプボックス、そしてモデリングアンプにまで早変わりするのです。

S5 テクノロジーの採用による、表情豊かな高品位サウンド

CELDRIVE には、meme で作成したドライブサウンド設定に応じて内部音色アルゴリズムを最適化する S5 テクノロジーが搭載されており、表情豊かな高品位サウンドを実現しています。

ノイズリダクションやノイズゲート、オクターバーも標準装備

CELDRIVE はノイズリダクション、ノイズゲートを搭載しており、非演奏時のノイズを抑制し、ステージや録音で威力を発揮します。また、オクターブ下の音をミックスすることも簡単にできます。

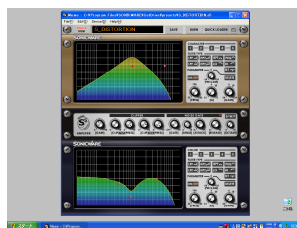
コンパクトサイズで持ち運びラクラク、電池も電源も OK

アルカリ電池なら最大 20 時間連続駆動のスタミナ設計。ライブでもリハーサルから本番までしっかり持たせます。また、DC9V アダプターを接続すれば電池残量を気にせず使用できます。

■ meme の起動方法

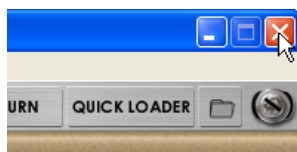
付属のインストールガイドを参考に、ドライバーと音色作成ツール「meme」のインストールが完了したら、以下の操作で meme を起動します。

1. CELDRIVE をコンピューターに接続し、CELDRIVE の電源を入れます。
2. Windows の「スタート」メニュー→「プログラム」→「SONICWARE」→「CELDRIVE」→「CELDRIVE」を選択します。
3. meme が立ち上がります。



■ meme の終了方法

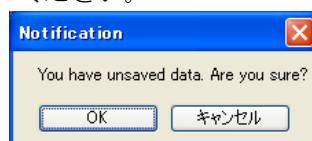
1. meme ウィンドウの[x]マークをクリックします。



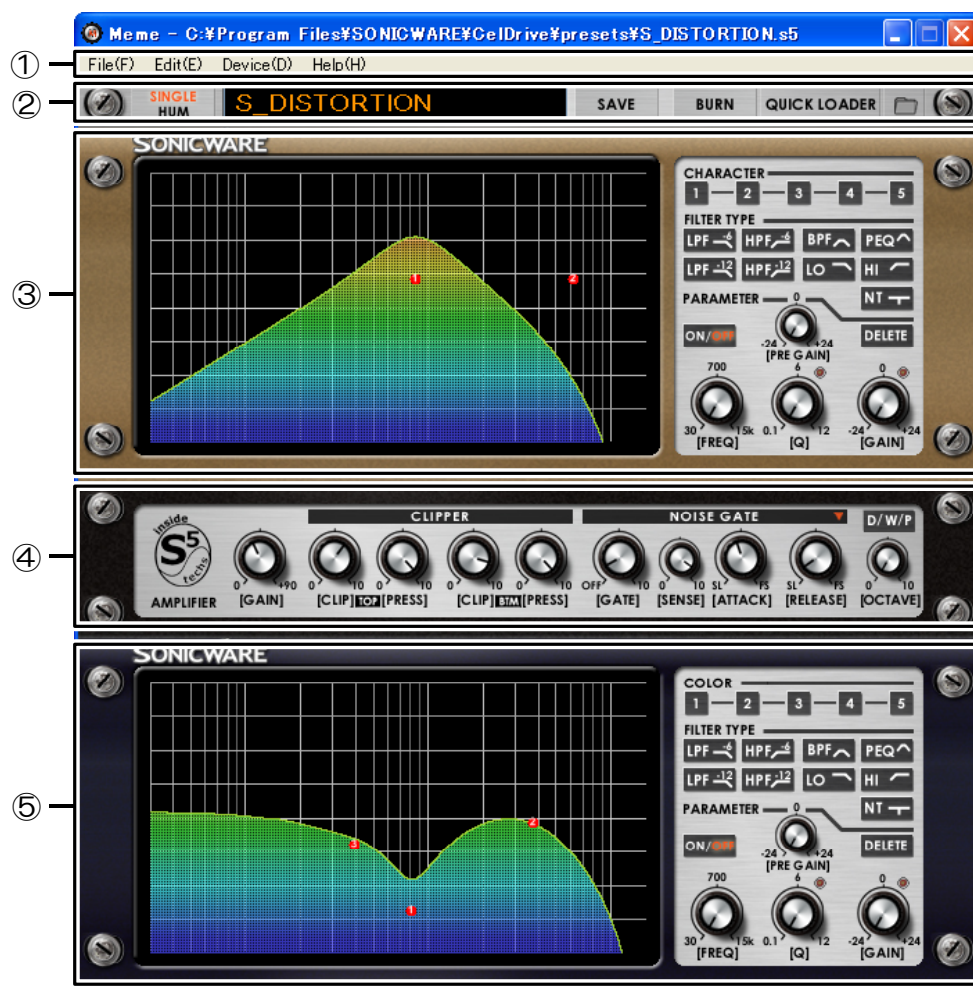
2. meme が終了します。

NOTE

データが編集中の場合は、次のようなメッセージが表示されます。保存せずに終了する場合は OK を、戻る場合はキャンセルをクリックしてください。



■ meme ウィンドウの紹介



①メニューバー：

ファイル操作や CELDRIVE の手動接続などを行います。(→P.17)

②トップパネルセクション：

ピックアップの選択や、作成したドライブサウンド名を表示します。また、作成したドライブサウンドの保存や CELDRIVE への書き込み、サウンド一覧（クイックローダー）の呼び出しもここで行います。(→P.18)

③CHARACTER セクション：

AMPLIFIER セクションで音を歪ませる前に、効果的に歪ませたい周波数帯域のゲインを調節します。

例えば、「低音をカットした上で歪ませたい」、「ミドルを若干つぶしたい」など、作りたいドライブサウンドにあわせて調節できます。(→P.20)

④AMPLIFIER セクション：

CHARACTER セクションで特徴づけた音を GAIN ノブで増幅し CLIPPER で音をクリップさせます。また、ノイズリダクションやノイズゲート、オクターバーもここで調節します。(→P.24)

⑤COLOR セクション：

AMPLIFIER セクションを通過した音に対し、低音や高音などの帯域ごとに強弱を付け、ドライブサウンドに特徴を持たせることができます。(→P.28)

CELDRIVE の INPUT ジャックから入力された音は、CHARACTER セクション→AMPLIFIER セクション→COLOR セクションの順に効果がつき OUTPUT ジャックから出力されます。信号の流れの詳細については P.16 をご参照ください。

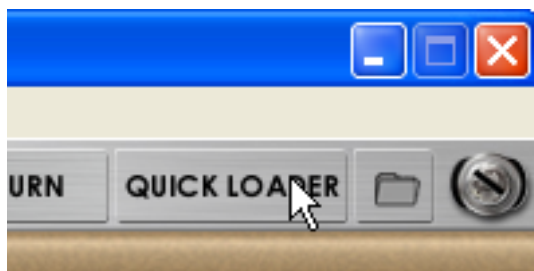
■ クイックツアー

初めて CELDRIVE を使用される際は、ぜひこのクイックツアーをご利用ください。プリセットサウンドの聴き方や、CELDRIVE への書き込み方法、簡単なエディット方法をご紹介します。

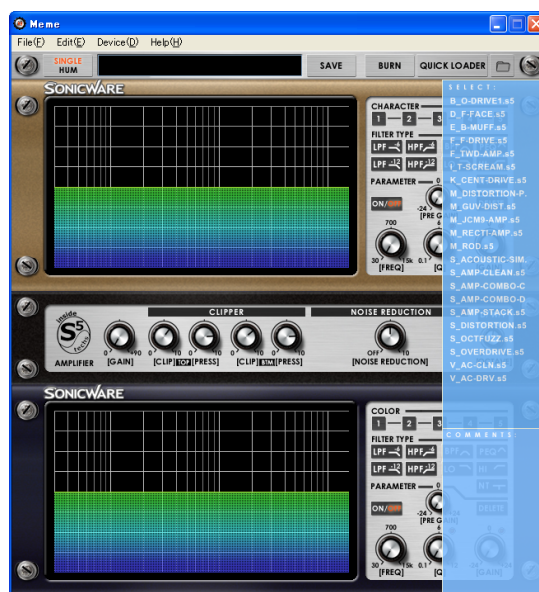
プリセットデータを聴く

あらかじめ用意されているドライブサウンドを聴いてみましょう。

1. コンピューターと CELDRIVE を USB ケーブルで接続し、CELDRIVE の電源を入れます。最初は CELDRIVE のレベルノブを小さめに調節しましょう。
2. meme を起動します。
3. トップパネルセクションの [QUICK LOADER]キー をクリックします。



クイックローダーが表示されます。



4. お好みのドライブサウンド名をクリックします。



CELDRIVE の音が選択したドライブサウンドに切り替わります。

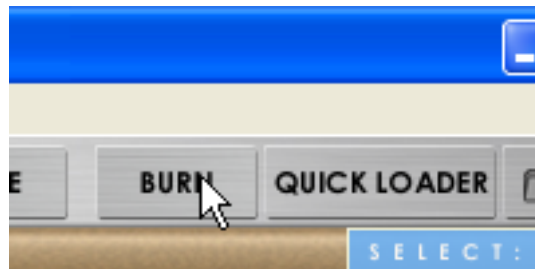


5. 手順4を繰り返せば、いろいろな音がお試しいただけます。
6. クイックローダーを終了するには、もう一度 [QUICK LOADER] キーをクリックします。

プリセットデータを CELDRIVE に書き込む

ここでは、現在のドライブサウンドを CELDRIVE に書き込みます。これにより、単体のエフェクターとしてコンピューターから切り離してお使いいただけます。

1. 「プリセットデータを聴く (→P.9)」を参考に CELDRIVE に書き込みたいドライブサウンドを選択します。
2. トップパネルセクションの BURN キーをクリックします。



CELDRIVE からの出力音が一瞬ミュートされ、書き込みが完了します。

これで、CELDRIVE にドライブサウンドが書き込まれました。CELDRIVE をコンピューターから切り離し、電源を入れなおして音をご確認ください。

プリセットデータを調節する

ここでは、プリセットのドライブサウンドを自分好みに改造してみましょう。

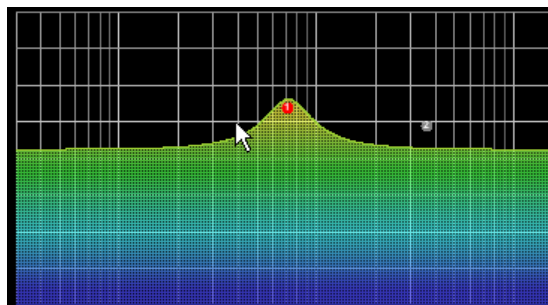
プリセットの「M_ROD」を例として挙げ、ゲインを少しあげ、更にロー（低い音）をブーストしてみます。

1. クイックローダーから「M_ROD」を読み込みます（→P.9「プリセットデータを聴く」参照）。
CELDRIVE のエフェクトが変わったことを確認してください。
2. AMPLIFIER セクションの [GAIN] ノブ をマウスで上方向にドラッグしノブが真上を向くようにします。

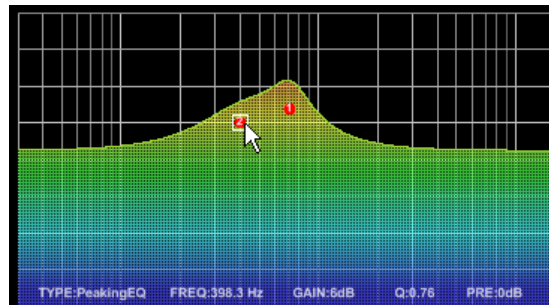


CELDRIVE から出る音のゲインが上がります。

3. CHARACTER セクション波形の表示されているエリア中央よりやや左上をクリックします。



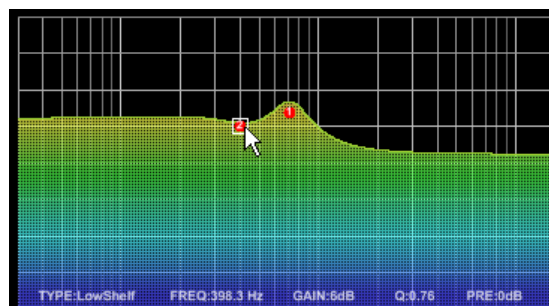
新しい「フィルター（音の高低ごとの効果）」が配置されました。



4. CHARACTER セクションのフィルタータイプ選択エリアの [LO]キー をクリックします。



先ほど配置したフィルターが「ピーキングイコライザー」から「ローイコライザー」になりました。



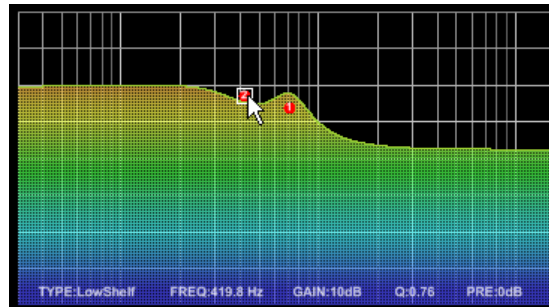
NOTE

各フィルタータイプについての説明は、P.22 をご参照ください。

HINT

[LO]キーがクイックローダーの背後に隠れている際は、[QUICK LOADER]キーをクリックしてクイックローダーを消してください。

5. 配置したフィルターはマウスでドラッグすることで、自由に動かすことができます。ローをブーストするには、上方向へとドラッグします。



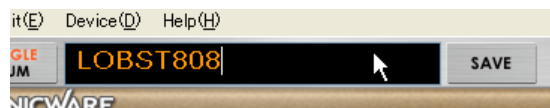
これでローがブーストされました。

CELDRIVE から鳴る音を確認してみてください。

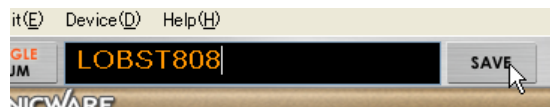
HINT

操作を元に戻すときは、キーボードの Ctrl+Z キーで 1 つ前の状態に戻ります。メニューバーの Edit→Undo でも同様です。(→P.17)

6. 完成したドライブサウンドに新しい名前を付けます。トップパネルセクションのドライブネームエリアをクリックし新しい名前を入力してください。ここでは、LOBST808 とします。

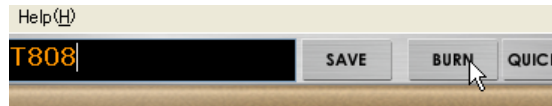


7. トップパネルセクションの SAVE キーをクリックします。



調節したドライブサウンドがコンピューターに保存されました。クイックローダーを表示して保存されていることを確認することもできます。(→P.19)

8. それではクイックツアーの締めくくりに、いま作成したドライブサウンドを CELDRIVE に書き込んでみましょう。
トップパネルセクションの BURN キーをクリックしてください。
(→P.18)



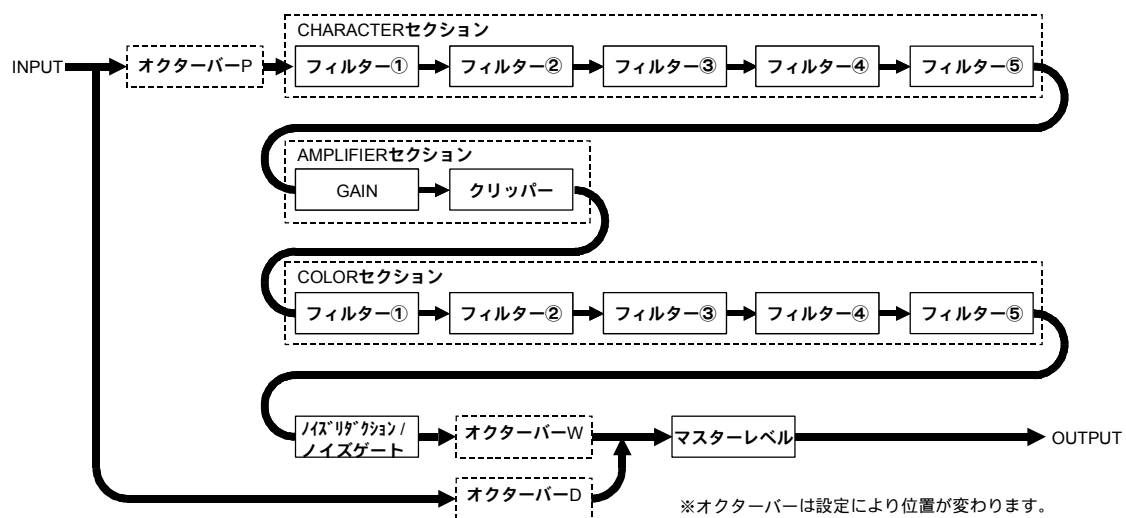
一瞬 CELDRIVE がミュートし、ドライブサウンドデータが書き込まれます。CELDRIVE をコンピューターから切り離し、電源を入れなおして音を確認してください。

これで、あなたのオリジナルエフェクトが CELDRIVE に書き込まれました！ 手順3～5のように、いろいろなフィルターの配置と、その音色の変化をお試してください。

CELDRIVE は、このほかにも様々な音作りが可能です。取扱説明書をよくお読みいただき、自分だけのドライブサウンドを作り出してください。

■ 信号の流れ

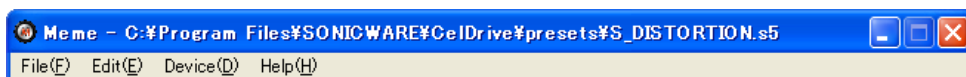
CELDRIVE/meme では次の図のような音声信号の流れになっています。



本製品では、各セクションのパラメータなどの情報を一つにまとめたものをドライブサウンドデータと呼びます。コンピューターへの音色の保存や読み込み、CELDRIVE 本体への書き込みはドライブサウンドデータ単位で行います。

■ 各部の機能

メニューバー



ファイル操作や CELDRIVE の手動接続などを行います。

- **File メニュー：** ファイル操作を行います。
 - ・ **New** ドライブサウンドを新規に作成します。
 - ・ **Open** 保存されているドライブサウンドを読み込みます。
 - ・ **Save** 現在編集集中のドライブサウンドを上書き保存します。
 - ・ **Save as** 現在編集集中のドライブサウンドに名前を付けて保存します。

- **Edit メニュー：**
 - ノブやスイッチ操作のやり直し（Undo）や、やり直しのやり直し（Redo）が行えます。

- **Device メニュー：**
 - meme 起動時に CELDRIVE がコンピューターに接続されていなかった場合や、接続していても CELDRIVE の電源を入れ忘れて meme を起動してしまった場合、このメニューの Connect をクリックして CELDRIVE と接続してください。通常 meme と CELDRIVE は meme の起動時に自動的に接続されます。

HINT

meme と CELDRIVE が接続されていなくても meme 上でドライブサウンドのエディットを行うことはできます。実際に音を聴きながら調節する場合は、CELDRIIVE を接続してください。

- **Help メニュー：** Version 情報を表示します。

トップパネルセクション



使用しているギターのピックアップの選択やドライブサウンドデータの保存、CELDRIVE への書き込み、ドライブサウンドデータの一覧表示などを行えます。

① SINGLE/HUM キー：

ご使用のギターのピックアップを選択してください。
シングルピックアップを使っているときは SINGLE、
ハムバッカーやアクティブピックアップをご使用の場合は HUM が光るようクリックしてください。

② ドライブサウンドネームエリア：

現在の選択されているドライブサウンド名が表示されます。また、ここをクリックすることで名前を編集することもできます。

NOTE

新しく名前をつけて保存した場合、そのドライブサウンド名に拡張子「.s5」を追加したファイル名で保存されます。

③ SAVE キー：

現在編集中のドライブサウンドをコンピューターに保存します。既に同じドライブサウンド名がフォルダに存在するときは上書きされます。

NOTE

名前を付けて保存を行いたい場合は、File メニューの Save as をご使用頂くか、ドライブサウンドネームエリアに新しい名前を入力してから SAVE キーをクリックしてください。

④ BURN キー：

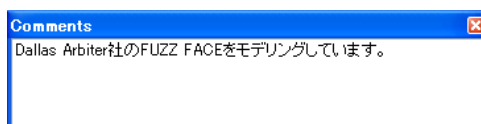
編集中のドライブサウンドを CELDRIVE に書き込みます。この操作を行わないと CELDRIVE 単体で起動したときに、元々 CELDRIVE に書き込まれていたドライブサウンドが鳴ります。

⑤ QUICK LOADER キー（クイックローダー機能）：



このキーをクリックするとコンピューターに保存されているドライブサウンドを一覧表示します。

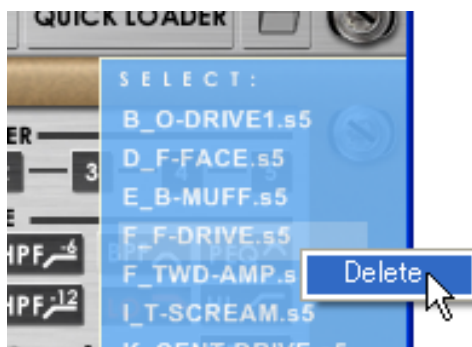
ドライブサウンド名にカーソルを合わせると、下のコメントエリアにドライブサウンドについての説明が表示されます。ドライブサウンド名をクリックすると、そのドライブサウンドデータが meme 上に読み込まれます。CELDRIVE がコンピューターに接続されている場合は、CELDRIVE の音も読み込んだドライブサウンドに切り替わります。また、下のコメントエリアをクリックすることでドライブサウンドデータに任意のコメントを付けることもできます。



NOTE

コメントを付けても、SAVE するまではファイルに保存されませんのでご注意ください。

一覧に表示されているドライブサウンドデータを削除したいときは、削除したいドライブサウンド名の上で右クリックを押し、プルダウンメニューの DELETE をクリックしてください。



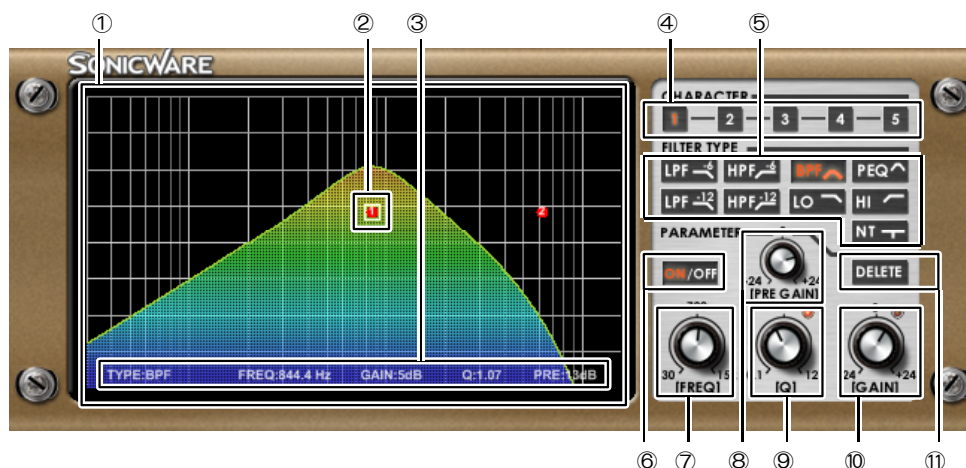
NOTE

この操作をして DELETE したドライブサウンドデータを元に戻すことはできません。慎重に行ってください。

⑥ フォルダアイコン：

QUICK LOADER や SAVE 先に使用されるフォルダを指定します。

CHARACTER セクション



AMPLIFIER セクションで入力音を歪ませる前に、効果的に歪ませたい周波数帯域のゲインを調節します。

① 周波数特性エリア：

周波数特性（音の高低に対するゲインをグラフ化したもの）を表示します。横軸が周波数です。左に行くほど低音になり、右にいくほど高音になります。縦軸はゲインで、上にいくほどゲインが高くなり、下にいくほどゲインは低くなります。

② フィルター：

周波数特性エリア内に 5 つまでフィルターを置くことができます。フィルターに書いてある数字の小さいものから順番に効果がかかっていきます。現在選択中のフィルターには四角い枠が付きます。このフィルターをマウスでドラッグすることで任意の周波数、任意のゲイン位置に配置できます。

また、フィルターの上でマウスの右ボタンを押しながら上下にドラッグするとフィルターの Q（フィルター効果の鋭さ）を調節できます。

NOTE

フィルターの色は通常赤色ですが、黄色になっている場合、若干

フィルターが発振などする可能性がある不安定な状態であることを示しています。このような場合、Q や FREQ を少し調整しますと安定する場合があります。

③ フィルターパラメータ表示エリア：

現在選択中のフィルターの持つパラメータを表示します。

各パラメータの説明は次のとおりです。

パラメータ名	説 明
TYPE	フィルターのタイプ名が表示されます。 (→フィルターのタイプについては P.22 を参照してください。)
FREQ	フィルターの配置されている周波数が表示されます。
GAIN	フィルターの配置されているゲインが表示されます。
Q	フィルターの Q (フィルター効果の鋭さ) が表示されます。
PRE	フィルターのプリゲイン (フィルター入力前のゲイン調節用) が表示されます。

④ フィルター選択キー：

1 番から 5 番までのフィルターをマウスでクリックして選択します。

⑤ フィルタータイプ選択キー：

現在選択されているフィルターのタイプを指定できます。フィルタータイプの特徴は次の通りです。

表記	タイプ/有効パラメータ	説明
LPF-6	ローパスフィルター (PRE GAIN, FREQ)	このフィルターは配置したところより高い音を小さくします。
HPF-6	ハイパスフィルター (PRE GAIN, FREQ)	このフィルターは配置したところより低い音を小さくします。
BPF	バンドパスフィルター (PRE GAIN, FREQ, Q)	このフィルターは配置したところ周辺以外の音を小さくします。
PEQ	ピーキングイコライザー (PRE GAIN, FREQ, Q, GAIN)	このフィルターは配置したところ周辺の音を任意に大きくしたり小さくしたりします。
LPF-12	ローパスフィルター (PRE GAIN, FREQ, Q)	このフィルターは配置したところより高い音を小さくします。 LPF-6 より急激な特性を持たせることができます。
HPF-12	ハイパスフィルター (PRE GAIN, FREQ, Q)	このフィルターは配置したところより低い音を小さくします。 HPF-6 より急激な特性を持たせることができます。
LO	ローイコライザー (PRE GAIN, FREQ, Q, GAIN)	このフィルターは配置したところより低い音を任意に大きくしたり小さくしたりします。
HI	ハイイコライザー (PRE GAIN, FREQ, Q, GAIN)	このフィルターは配置したところより高い音を任意に大きくしたり小さくしたりします。
NT	ノッチフィルター (PRE GAIN, FREQ, Q)	このフィルターは配置したところ周辺の音を小さくします。ノイズやハウリングなどの対策に使用します。

⑥ ON/OFF キー :

フィルターの ON/OFF を切り替えます。ON にした状態と OFF にした状態で聞き比べたいときに便利です。OFF のフィルターは、周波数特性エリア内で灰色になります。

⑦ FREQ ノブ :

現在選択中のフィルターの周波数を調節します。

⑧ PRE GAIN ノブ :

現在選択中のフィルターのプリゲインを調節します。入力音に対して歪まない程度に調節すると高品位なフィルター効果が得られます。

⑨ Q ノブ :

現在選択中のフィルターの Q (フィルター効果の鋭さ) を調節します。フィルタータイプによってはこのパラメータが無効のものもあり、その場合はノブ右上の LED が消灯します。

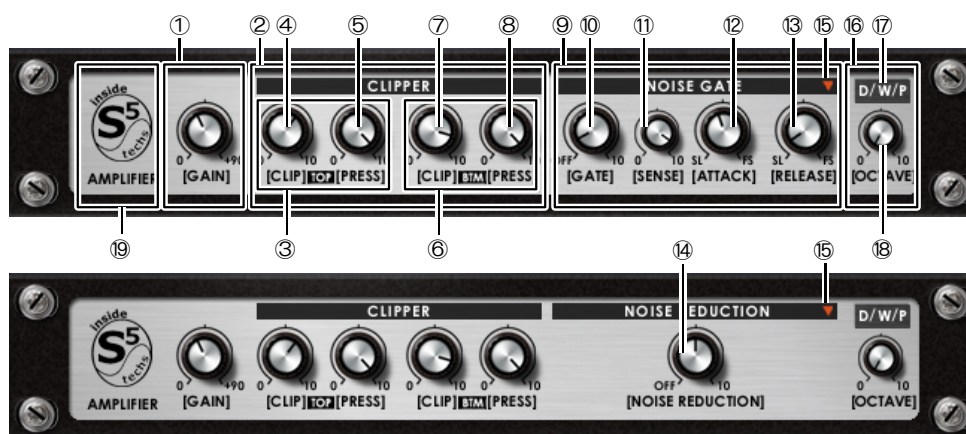
⑩ GAIN ノブ :

現在選択中のフィルターのゲインを調節します。フィルタータイプによってはこのパラメータが無効のものもあり、その場合はノブ右上の LED が消灯します。

⑪ DELETE キー :

フィルターを削除します。キーボードの DELETE キーを押しても現在選択中のフィルターを削除することができます。誤って削除してしまった場合は、Undo 機能を使って、元に戻してください (→P.17)。

AMPLIFIER セクション



AMPLIFIER セクションでは、CHARACTER セクションでフィルター効果が付いた音をゲインコントロールで増幅しクリッパーコントロールで音を歪ませます。また、ノイズリダクションやノイズゲート、オクターバーの調節も行えます。

① ゲインコントロール（GAIN ノブ）：

ゲインを調節します。ゲインは急激に上げず、徐々に上げてください。大きく歪ませたいときは、CELDRIVE の出力レベルを下げてから、ゲインコントロールを上げてください。

② クリッパーコントロール：

ゲインコントロールを通過して増幅された音にクリップ効果を付加します。以下③～⑧で構成されています。

③ TOP グループ：

ゲインコントロールを通過して増幅された音の波形の上側に対してクリップ効果を付加します。以下④、⑤で構成されています。

④ CLIP ノブ：

クリップさせるレベルを調節します。10 に近づくほど、すぐにクリップされるようになります。

⑤ PRESS ノブ :

クリップする際の鋭さを調節します。10 に近づくほどきつくクリップします。

⑥ BTM グループ :

ゲインコントロールを通過して増幅された音の波形の下側に対してクリップ効果を付加します。以下⑦、⑧で構成されています。

⑦ CLIP ノブ :

クリップさせるレベルを調節します。10 に近づくほど、すぐにクリップされるようになります。

⑧ PRESS ノブ :

クリップする際の鋭さを調節します。10 に近づくほどきつくクリップします。

⑨ ノイズリダクション/ノイズゲートコントロール :

ノイズリダクションは非演奏時の入力音をより小さくすることで、ノイズを目立たせなくします。

ノイズゲートは入力音が一定レベル以上であれば音をそのまま通過させ、一定レベル以下であったらミュートすることで、非演奏時のノイズをカットすることができます。

以下の⑩～⑮で構成されています。

⑩ GATE ノブ :

ノイズゲートが作動するレベルを調節します。値が大きいほど音が通過しにくくなります。また、値が最小のときノイズゲートの機能は OFF になります。

NOTE

ノイズを通過させない範囲で小さく調整すると良いでしょう。

⑪ SENSE ノブ :

ノイズゲートの感度を調節します。値が大きいほど感度が良くなり、弱いピッキングでもゲートが開きやす

くなります。しかし、上げすぎますと、音の切れ際にゲートの開閉が繰り返されブチブチと音が途切れる場合があります。

NOTE

通常はピッキングニュアンスが伝わる程度に大きめにしておくことをお勧めします。わざと汚い FUZZ などをつくる時には最大にして、音が途切れる効果などを狙えます。

⑫ ATTACK ノブ :

入力音が一定レベルを超えたあとに、実際にゲートが開く早さを調節します。SL 側(SLOW)にすると遅く、FS 側(FAST)にすると早くゲートが開きます。

NOTE

不自然にならない範囲で、FS 側に調節すると良いでしょう。

⑬ RELEASE ノブ :

入力音が一定レベルより小さくなったあと、実際にゲートが閉じる早さを調節します。SL 側(SLOW)にすると遅く、FS 側(FAST)にすると早くゲートが閉じます。

NOTE

音の切れ際やギターをパツとミュートしたときに不自然にならない範囲で、調節すると良いでしょう。

⑭ NOISE REDUCTION ノブ :

ノイズリダクションの効き具合を調節します。右に回すほど効果が強くなりノイズを抑制します。一番左に回すとノイズリダクションは OFF になります。

NOTE

音の切れ際が不自然にならない範囲で、調節すると良いでしょう。

⑮ ノイズリダクション/ノイズゲート切り替えキー :

ここをクリックすることで、ノイズリダクションとノイズゲートを切り替えます。

⑯ オクターバーコントロール :

オクターバーではドライブサウンドに1オクターブ下の音をミックスすることができます。以下の⑰、⑱で構成されています。

⑰ D/W/P キー (DRY / WET / PRE) :

オクターバーの ON/OFF と配置するポジションを選択します。このキーをクリックするたびに、「消灯→D 点灯→W 点灯→P 点灯→消灯」と切り替わり、点灯状況とオクターバーの状態は次のように対応しています。

消灯時： オクターバーは OFF です。

D 点灯時： オクターバーは ON です。ミックスされる 1 オクターブ下の音色は、ドライブエフェクトがかかる前の DRY 音になります。

W 点灯時： オクターバーは ON です。オクターバーへは、ドライブエフェクトのかかった WET 音が入力されます。

P 点灯時： オクターバーは ON です。オクターバーの位置はドライブエフェクトの前になり、ドライブエフェクトにはオクターブ下の音が既にミックスされたものが入力されます。

⑱ OCTAVE MIX ノブ：

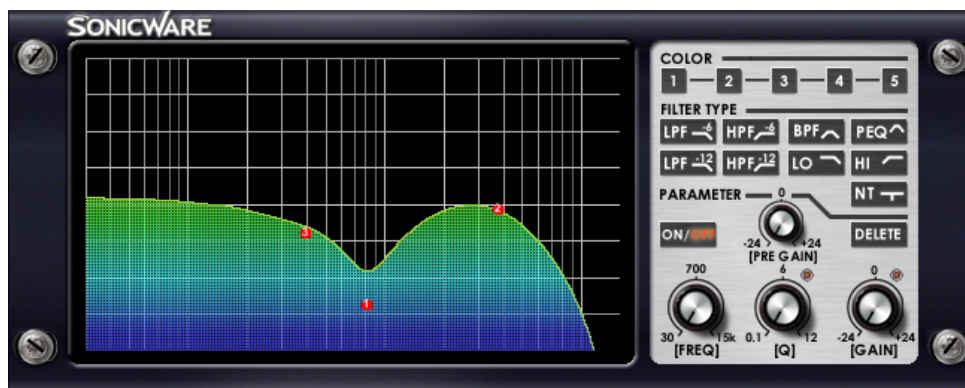
1 オクターブ下の音のミックス量を調節します。0 にするとオクターブ音はミュートされ、10 に近づくほどオクターブ音が大きくなっていきます。上記⑰D/W/P キーが消灯しているとオクターバーは OFF になるため、このノブは無効になります。

⑲ S5 techs シルク：

ここをクリックすると、AMPLIFIER セクションのパラメータ値を確認することができます。再度クリックすると表示を消すことができます。



COLOR セクション



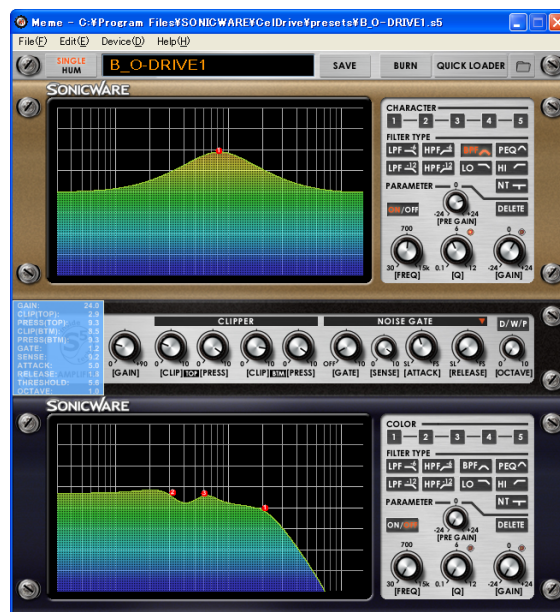
AMPLIFIER を通過した音の周波数ごとに強弱を付けることで、ドライブサウンドに特徴を持たせることができます。

各表示、キー、ノブに関しては CHARACTER セクションと同様ですので、CHARACTER セクションをご参照ください。(→P.20)

■ サウンドメイキングの一例

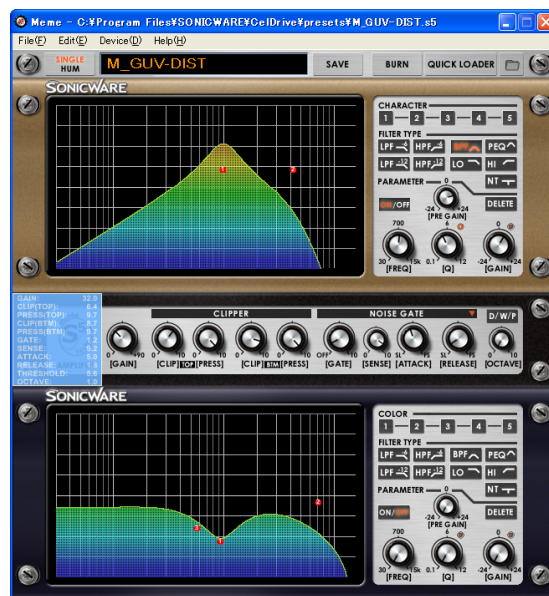
ここでは、CELDRIVE と meme を使ったサウンドメイキングの一例を紹介します。サウンドメイキングの仕方は、人により千差万別ですので、ここで紹介します方法をひとつの足がかりとして、自分なりのサウンドメイキング方法を見つけてください。

オーバードライブ (B_O-DRIVE1)



- CHARACTER :** PEQ で FREQ を 800Hz 周辺にし、ブーストさせます。
- AMPLIFIER :** GAIN は 15～35dB くらいで調整します。CLIP は TOP と BTM で差を付けるのも良いです。PRESS は歪ませたあとの最後の微調整に使用します。
- COLOR :** 全体のトーン印象は COLOR で行います。最終的な微調整は CHARACTER よりも COLOR で行ったほうがやりやすいです。

ディストーション (M_GUV-DIST)



- CHARACTER :** BPFなどで、歪ませたい部分を限定すると、きれいに歪みます。
- AMPLIFIER :** GAINは25dB〜で調整します。あまり上げ過ぎると発振しやすくなるので、歪み具合はCLIPを上げて調整します。CLIPを10にすると、クリップし過ぎて音量が小さくなります。CLIPは6以上にすると歪みやすいです。PRESSは大きめにし、最後にも微調整すると良いでしょう。
- COLOR :** 全体の印象はCOLORで行います。PEQなどで、FREQで700Hz周辺を削ると、LOとHIが出てきて、ディストーションサウンドに近づきます。また、3500Hz付近にLPFなどを配置して、余計な高音成分をカットするとマイルドな歪みになります。

ファズ (D_F-FACE)



CHARACTER : LOなどで低音をブーストさせ、LPFで高音域をカットします。

AMPLIFIER : GAINは15dB〜で調整します。あまり上げ過ぎると発振しやすくなるので、歪み具合はCLIPを上げて調整します。CLIPを10にすると、クリップし過ぎて音量が小さくなります。CLIPは6以上にすると歪みやすいです。PRESSは大きめにし、最後にも微調整すると良いでしょう。

COLOR : 全体のトーン印象はCOLORで行ないます。ここでもLOをブーストさせるとよりファズらしくなるでしょう。

■ そして、それから

ソニックウェアでは、CELDRIVE をつけたオリジナルのドライブサウンドやサウンドメイキングのテクニックなどを募集しています。ソニックウェアのホームページで、あなたのつくったドライブエフェクトを公開してみませんか？

下記 URL へ是非アクセスしてみてください。

製品の最新情報やソフトウェアのバージョンアップ情報なども掲載していく予定です。

ソニックウェア URL

<http://www.sonicware.jp/>

■ 困ったときは (Q&A)

meme で EDIT しても CELDRIVE に音が反映されない。

- USB ケーブルは正しく接続されていますか。
- CELDRIVE の電源は入っていますか。
- Device メニューを開くと Connect がクリックできるようになっていませんか。

本来 meme は起動時に CELDRIVE に自動的に接続しますが、起動後に CELDRIVE をコンピューターに接続した場合や、CELDRIE の電源を入れ忘れて meme を起動した場合は、Device メニューで手動で接続するか、meme を再起動してください。

CELDRIE をコンピューターに接続すると不明なデバイスと警告される。

- 電池が少なくなってきましたか。
電池が少ないと USB 機器として認識してくれない場合があります。
- ドライバは正しくインストールされていますか。
付属のインストールガイドをご参照の上ドライバーのインストールを行ってください。

■ エラーメッセージ/確認メッセージ一覧

Multiple boot not available.

mememe を多重起動しています。

mememe は同時に 1 つしか起動することができません。

Memory not enough.

mememe 起動時にコンピューターのメモリが不足しています。

他のアプリケーションをいくつか閉じてから、再度 mememe を起動してみてください。

Please check the connection.

CELDRIVE がコンピューターに接続されていない状態(CELDRIVE とコンピューターが USB ケーブルで接続されていない場合や接続されていても電源が入っていない場合)で、mememe が起動された場合や、mememe 起動後に CELDRIVE をコンピューターから外した状態で mememe の操作が行なわれています。

CELDRIVE を接続しなくても、mememe でドライブサウンドをエディットすることはできますが、音を聴きながらドライブサウンドを作成したい場合は、CELDRIVE をコンピューターに接続して、mememe の Device メニューの Connect をクリックしてください。

Failed Deleting File.

ドライブサウンドデータの削除に失敗しました。

該当ファイルのプロパティを見て、読み取り専用属性になっていないか確認してください。

File Write Error.

ドライブサウンドデータの保存に失敗しました。

該当ファイルのプロパティを見て、読み取り専用属性になっていないか確認してください。また、ディスクの空き容量が十分であるかも確認してください。

File Read Error.

ドライブサウンドデータの読み込みに失敗しました。
ドライブサウンドデータファイルが壊れている可能性があります。

You have unsaved data. Are you sure?

ドライブサウンドのエディットが行なわれましたが保存する前に、他のドライブサウンドを読み込もうとしたり、meme を終了しようとしています。

現在のドライブサウンドを保存するには、キャンセルをクリックして前の画面に戻ってから SAVE キーをクリックするか、File メニューの Save as で名前を付けて保存してください。

Are you sure to delete?

ドライブサウンドデータファイルを削除しようとしています。
問題なければ、OK をクリックしてください。削除するのをやめるには、キャンセルをクリックしてください。

The file already exists. Will you overwrite?

すでに存在するファイル名で保存しようとしています。
上書き保存しても問題なければ、OK をクリックしてください。上書き保存するのをやめるには、キャンセルをクリックしてください。

■ サポート/修理/各種お問い合わせ

有限会社ソニックウェア

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-26-11

E-Mail : sup1@sonicware.jp TEL : 03-5951-5175

web : <http://www.sonicware.jp>

S-CELDRIVE-JP-0010